

泣き語り講演会

～うたたね～

U TA TA NE

始まりには終わりがあつて。

終わりには何があるんやろう。

【入場整理券について】

- ・守山市民ホール窓口で配布しています（定員になり次第配布終了）。
- ・講演会当日までに来館が難しい場合は、電話予約も可能です。
お名前、お電話番号、参加人数をお知らせください。

2023

入場無料（先着80名）

※入場整理券が必要となります。

8/11 金曜・祝日

守山市民ホール
小ホール



13:30開場/14:00開講

主催：公益財団法人 守山市文化体育振興事業団
問合：守山市民ホール 077-583-2532



上記は視覚障がい者のための音声コードです。
読み上げには専用のアプリ等が必要です。

たった一本のどこまでも続く長いレールの上。
 ゆっくりと走る鈍行列車に飛び乗って
 あなたの26,454日の旅は始まった。
 流れる景色。触れ合う人々。

すべてがBGMとなり、あなたの旅を演出する。
 旅の途中で、長いトンネルから抜け出せない時も
 あなたは光の種を蒔き、懸命に日々を記した。
 そして、あなたが愛した居場所は大きな陽だまりとなった。
 ある日、雨の時も風の時も背負い続けた荷物を
 あなたはそっと降ろし、静かに目を閉じた。
 金色に染まった雲の合間からこぼれた光が
 あなたの旅の終点を告げた。
 その姿はまるで、うたたねをするかのように。

講演後に、感想や思いを講師や参加者のみなさんとシェアする時間があります。
 (「創作ヴィレッジこるり村」特別提供のスイーツ付き)
 ※創作ヴィレッジこるり村の施設紹介展示や作品の販売もごぞいます。

【講師プロフィール】

島田和典 (社福) やまびこ福祉会 統括施設長 & 創作ヴィレッジこるり村施設長

竜王町という小さな田舎町で、ひたすら生きることに命をかけた人がいました。
 よしちゃん。誰からも愛され、誰よりも人を愛した人。
 彼の終末期支援に関わった人間として、伝えたいことがあります。
 砂時計のように日々少なくなっていく命。支援者として彼の人生の最期に何が出来るのか。
 最後に待っていた衝撃のラストシーンは、障害や健常という枠を遥かに飛び越えて
 社会を変える道しるべとなりました。
 あの日から15年。
 よしちゃんが残してくれたことを、少しでも受け取ってもらえたら嬉しいです。

アクセスのご案内

■ JR 守山駅からの移動

◎守山駅西口のりばより「杉江循環線」もしくは「守山市民ホール行き」にご乗車いただき「守山市民ホール前」にて下車。
 (徒歩の場合:約30分、バス利用の場合:約7~18分)



■ バスの時刻検索 (近江鉄道のページ) へのリンク ⇨

※出発バス停と到着バス停を打込み(もしくは選択)して検索願います。
 (ホール最寄りのバス停は「市民ホール前」もしくは「立命館守山中学校・高校前」となります)
 (JR守山駅からの場合は「守山駅(近江鉄道・湖国バス)」を打込み(もしくは選択)願います)

